

お茶の水女子大学での留学

Keimyung University
SHIN JIWON

日本での4月は新しいことが始まる月だ。学校ではサークルの部員を募集する学生がたくさんいた。私もその中で気になるサークルに参加してみた。日本のサークルは私が思ってたのとちょっと違った。

学校の授業は前の学期より慣れやすかった。日本の授業システムに少しは慣れたためもあると思う。今学期には一般科目ではない留学生科目も何個かってみた。この学期は少し余裕のある学校生活をしてみたかった。そのおかげで各専攻科目に当てられる時間が増えてその科目の勉強時間が増えた。

また、5月と6月にはサークル活動もやりながら日本の大学生活について少しずつ知っていった。授業外での大学生活、就職活動などの日本人の大学生活を隣で見ながら韓国との違いと新しい面を発見できた。そしてこの頃には学校の授業に慣れて、授業を使用言語が違っただけの同じ学ぶ過程だと感じ始めた。この学校に馴染む感じがした。

7月には毎日が暑かった。授業のためにちょっと移動することすら辛いほど暑い日もあった。それで昼の時間帯にあまり外出できなかった。休日にどこかに旅行に行きたい気持ちもあったが、最初の浮いてた心も落ち着いて、この暑さで出歩く気分もあまりなかった。でも夜のスーパーは昼とは違う雰囲気良かった。

そして、今学期は外国語教育センターの外国語カフェで韓国語の担当をした。一人で企画と進行を全部やらなければならないのが最初は負担に思ったが、やりながら楽しかった。ただ、参加者に合わせた難易度を設定するのがすごく難しかった。でも慣れつつある日本生活に韓国語カフェという活動をやって、新しい生活を始める気分になったりもした。